

モーツァルト・サロン会報 NO.75

第75回 モーツァルト・サロンコンサート・シリーズ
「魚谷絵奈ピアノリサイタル」特集

2022年4月10日号



ファジル・サイ＝モーツァルト
トルコ行進曲

ご挨拶

春と冬をしばらく行きつ戻りつしていた今年の3月、4月でしたが、ここへ来て漸く暖かく心地よい気候になりました。皆様は如何お過ごしでしょうか。

さて、一段と暖かくなり、お天気にも恵まれた4月10日(日)14:00より当サロンでは「魚谷絵奈ピアノリサイタル」が開かれました。

桜色のジャンプスーツで颯爽と登場し、「モーツァルト：ピアノソナタ K.331 トルコ行進曲付き」で幕が開きました。持ち味の美しい音で奏でられる王道を行くモーツァルトに会場は典雅な雰囲気になりました。演奏後にコンサートに対する思いなどを次のように話されました。「皆様、本日はコロナ感染が落ち着かない中で、ご来場下さり、ありがとうございます。今回、4月のコンサートのお話を頂いた時に、モーツァルト・サロンということでAdurの春らしい感じのするソナタで始めたいと思いました。今日のプログラムは(作曲家の)出身国、生きていた時代と曲のスタイルが凄く違ったものを選び過ぎてしまった感じがしていて、弾く方も大変になってしまいました(笑)。全然違う4つの国の料理をいっぺんに食べさせられている気分です、すごくお腹いっぱいになってしまうようなプログラムになっています。次のドビュッシーのアラベスクですが、アラベスクというのは唐草模様という意味で、バッハの美しい旋律の曲線美に憧れて書いたとも言われています。幾何学的な線の絡み合いを表現しています。次のバッハ＝ブゾーニですが、元はヴァイオリン一本のための大変有名な曲ですが、ピアノの名手だったブゾーニがピアノ一人でも弾けるように編曲してくれました。オルガン的な響きがあるところもあります。大体30回変奏する中で一つの大きな曲になっています。それから、彩り豊かにドビュッシーを紡ぎ、荘厳で重厚感のある大曲を全身全霊を込めて演奏されました。

後半はカプースチンの曲で構成されました。「プレリュード23番」を演奏すると、そこはまるでジャズのライブハウスの様。そして、後半のプログラムについて説明されました。「後半は急にジャズみたいな感じになったのですが、カプースチンという、2020年までご存命だったウクライナ出身の作曲家の曲を今日初めて演奏会で取り上げるのですが、どんな雰囲気になるのかわからない感じです。前半のいわゆるクラシックと大分スタイルの異なる曲になりますが、全体を通して楽しい雰囲気の曲が多いので、気楽な感じで楽しんで頂けたらと思います。彼の音楽の一番特徴的なのが無窮動ということなんです。音符がとめどなく流れてくる、息付くところがないような…。カプースチンは技巧的にも素晴らしいピアニストだったのですが、自身が残した楽譜をきちんと再現することが難しく、「僕の曲は難しいんだよ」と言って、メトロノームに合わせて練習していたらしいです。洪水のように音が流れてくるようなすごく明るいスタイルが特徴です。ウクライナ出身で、旧ソ連で育ったのですが、音楽は暗くなくて、楽観主義的であることが重要だと仰っていたようです。

そして、「プレリュード9番」と「ソナタ」を大変な集中力で演奏され、盛大な拍手が贈られました。「ありがとうございます。今日は初めて聴く曲ばかりだったかも知れないのですが、カプースチンてなんか凄いということがわかって頂け、興味がありましたらYouTubeでご自身の演奏も聴くことができます。カプースチンをなぜ弾こうと思ったかということですが、2年前のコロナが始まった頃の自粛生活中に、カプースチンでどんな曲なのだろうかと思い付きまして、ちょっと弾いてみたら、身体の奥底から元気がもらえるような作曲家だなと思って挑戦しました。最後はジャズとクラシックの融合でアンコールとさせていただきます。アンコール曲は「モーツァルト＝ファジル・サイ：トルコ行進曲」。とても楽しくユーモラスな演奏に沢山の笑顔と拍手が生まれました。お客様はきっと浮き浮きとした明るい気分で帰路に付かれたことでしょう。

魚谷絵奈さんの今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人 国際育英文化協会
代表理事 伊藤美保子

アンケート集計結果

ご協力ありがとうございました。

1. プログラムの中で良かった曲を教えてください。(何曲でも可)

- モーツァルト：ピアノソナタ 第11番 トルコ行進曲つき 11
- ドビュッシー：2つのアラバスク 9
- バッハ＝ブゾーニ：シャコンヌ(ヴァイオリン・パルティータ第2番より) 17
カプースチン
24のジャズプレリュードより
- 第23番 12 第9番 8
- ソナタ 第1番 「ソナタ・ファンタジー」 12
- アンコール曲 12

2. 魚谷絵奈さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪ バッハ作品の中でもたいへん力強い作品でしたので生演奏で聴いてよかった。フランクの“コラールとフーガ”にどこか似ているような気がしました。ドラマチックであり人生、苦もあるが光りもそのうちやってくるというメッセージなのか！
- ♪ 今日はカプースチンを楽しみに伺いましたが、幕開けのモーツァルトが春にぴったりで、シャコンヌも思いの外素晴らしくて魅了されました。奇しくも、カプースチンはウクライナ出身ですね(この音色が届くと良いのに)。とても楽しくて雰囲気が有って、ゴージャスでやはり素敵でした。カプースチンを演奏して下さって有難うございました。益々絵奈さんのコンサートが楽しみになりました。あー、楽しかった～
- ♪ 「ブゾーニ」の天才性を改めて思わせる「シャコンヌ」でした。簡単ではないと思いますが、再演希望します。
- ♪ 花粉症だった？笑 めっちゃアツイ演奏をありがとう。ブゾーニのバッハの厚みを1音1音受けとめました。Peace for ウクライナ！
- ♪ 素敵でした～♡美しい♡すごく繊細な音だけど粒がぜんぶ際立ってて、でも“イケメン”な演奏で、感動でした。おつかれさま～！！
- ♪ どうしてとるこ行しん曲をえらんだんですか。(答え：第1楽章が春にぴったりの曲だからです、きっと)。
- ♪ 先生の素晴らしい演奏をきいて、ぼくもがんばろうと思いました。これからもよろしくおねがいします。
- ♪ 大変素晴らしい演奏を聴かせて頂きまして有難うございました。ドビュッシーの後にバッハというプログラムは今まで聴いた事はありませんでしたが音色の違い、ダイナミックさなど、とても新鮮で強く印象に残りました。



モーツァルト
王道に行く演奏



にこやかにご挨拶



ドビュッシー：アラバスク1番
美しい音で唐草模様を紡いで行きます。



ドビュッシー：アラバスク2番
オチャメな雰囲気？



バッハ＝ブゾーニ：シャコンヌ
壮大な曲が始まります。



バッハ＝ブゾーニ
正に圧巻の演奏！

- ♪素晴らしい演奏を有難うございました。
- ♪大変素晴らしい演奏を有難うございました。とても印象的なコンサートでした。
- ♪バラエティに富んだ選曲でとても面白かったです。カプースチンは初めて聴いて新鮮でしたが、うしろから見える譜面もとても忙しいそうで見応えありました。
- ♪久々に絵奈ちゃんの演奏を聴けて嬉しいです！東京に越してきたから前より行きやすくなったので次回も楽しみにしています。
- ♪心豊かになる時間をすごせました。本当にすばしかったです！これからもずっと応援しています♡
- ♪しばしコロナを忘れさせてくれるすばらしい演奏、ステキな時間をありがとうございます。次回も楽しみにしています。
- ♪いつもステキな演奏ありがとう。満足です😊
- ♪大変素晴らしい曲の数々に感激いたしました。至福の時間をどうもありがとうございました。
- ♪繊細かつ迫力のある絵奈さんの演奏を間近で聴ける機会に毎回感謝しています。次回も楽しみにしております。カプースチン楽しかったです。
- ♪シャコンヌの演奏もすばしかったです。心拍数が上がり、ドキドキしました！情感ゆさぶられました。カプースチンの曲は色々な音が重層的に途切れることなく、しかもくるくる変化しながら流れてくるのに、小気味よい(?)、歯切れがよいテンポで不思議な感じでした。今回も素晴らしい演奏ありがとうございます！
- ♪今回も先週までのざわついた心がピアノの音色でいやされました。いつもありがとうございます。
- ♪クラシックからジャズまで幅広いレパートリーを聴かせて下さり、ありがとうございました。これからも魅力的な素晴らしい演奏を楽しみにしています！
- ♪音のきれいな端正な表情のモーツァルト、優しさの感じられるドビュッシー、重厚感は保ちつつ、ホールの残響のない分、かえてぬくもりの感じられるバッハ、そして迫力のカプースチンは存分楽しめました。すばらしいコンサートでした。
- ♪先生のまた新しい魅力（カプースチンやジャズの）知ることができました。すばらしいテクニックに美しい音色にうっとりしました。素敵な演奏ありがとうございました！！



カプースチン：プレリュード 23 番
後半はジャズのライブハウスの様。



コロナ禍での自粛期間に
カプースチンでどんなものが弾いてみました。



カプースチン：プレリュード 9 番
静かな大人のムードが漂います。



カプースチン：ソナタ
大曲で難曲を弾き切りました。



モーツァルト＝フェジル・サイ：トルコ行進曲
アンコールは益々盛り上がりました。



ありがとうございました
お客様から好評を頂いたプログラムでした。

第 76 回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

ゴウ茅里沙ピアノリサイタル チケット発売中!

~天上から芳醇な響きと甘美な楽の音が舞い降ります~

2022年6月26日(日) 14:00より 入場料:3,000円

ドビュッシー:子供の領分 / ピアノのために
リスト:愛の夢
ショパン:ノクターン第2番 / ワルツ遺作 ホ短調
ドビュッシー:ロマンティックなワルツ / 夜想曲 / 喜びの島

※下記公演は全て 14:00 開演です。

第 77 回 2022 年 7 月 17 日 山口友由実ピアノリサイタル 入場料:3,000円
第 78 回 2022 年 9 月 25 日 永井公美子&矢島愛子デュオリサイタル 入場料:3,000円
※2022年2月13日延期公演
第 79 回 2022 年 11 月(日にち未定)佐藤卓史ピアノリサイタル 入場料:3,000円

チケットのご購入: お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人 国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。ご入金確認後、チケットをお送りいたします。

ゆうちょ銀行 ①ゆうちょ銀行からのお振込み:記号 10150 番号 70038231
②他の金融機関からのお振込み:店番 018 普通預金 7003823
みずほ銀行 赤羽支店 普通預金 2093151

※ クレジットカード、コンビニ決済をご希望の方は Pass Market よりご購入いただけます。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

緊急事態宣言は解除となりましたが、当サロンでは引き続き、下記の内容で新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしております。どうぞご安心の上、ご来場くださいませ。

- ♪ お客様全員のマスク着用
- ♪ 人数制限
- ♪ アンケート用紙へのお客様のお名前、お電話番号のご記入
- ♪ 会場入口での検温、およびアルコール消毒
- ♪ 開演前、休憩中、終演後の換気
- ♪ 下記事項を控えさせていただきます。
 - ・ お飲み物の提供
 - ・ 演奏者への贈り物
 - ・ サイン会
 - ・ 演奏者によるお客様の見送り

♪『ピアノ三重奏による モーツァルト・サロンのクリスマス』

1,500円(税抜き価格)



当社団が2016年に柿沼唯先生に委嘱したクリスマスの三重奏曲を是非CDというお声に応え、若手の錚々たる演奏家を得て華やかでクリスマスの喜びに満ちたアルバムとして完成いたしました♪

モーツァルト:ピアノ三重奏曲 ト長調 K.564
チャイコフスキー=柿沼唯:「くるみ割り人形」より花のワルツ(2016年委嘱作品)
柿沼唯:クリスマス・メドレー(2016年委嘱作品)
演奏:上敷領藍子(VI) 三井静(Vc) 佐藤卓史(Pf)



魚谷絵奈先生

モーツァルト・サロンピアノ教室 指定の月・水・金曜日

現役のピアニストとしても活躍される魚谷絵奈先生と青木沙耶花先生によるワンランク上の個人レッスン。ピアノの先生のスキルアップにも最適です。

- ・月額制:10,000円~(30分~/年40回)
- ・1レッスン制:6,000円(60分)



青木沙耶花先生

お問い合わせ:一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-0045 東京都北区赤羽1-54-5メトロAIビル5F

TEL:03-5939-9535 FAX:03-5939-9536

HP:<http://www.kokusai-ikuei.jp/> Facebook:<https://www.facebook.com/mozartsalon>

モーツァルト・サロン赤羽で検索して下さい。

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページ「お問い合わせ」よりご連絡下さい。